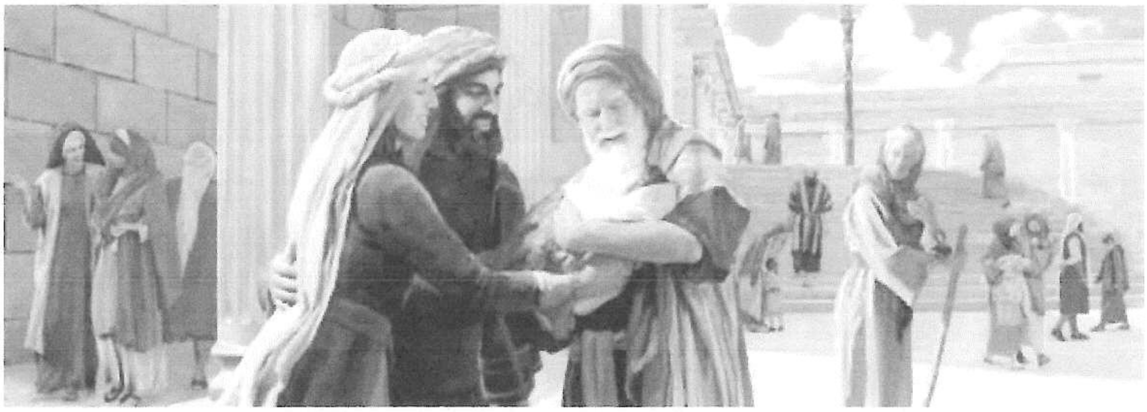
２０２３・１２・１７　　　　　　　　　　　　　　　　黄金井尚美　主任牧師

＜救い主を待ちのぞむ＞

イザヤ１１：１～５



アドベント（ラテン語）･･･来臨とか到来という意味。

【シメオンとアンナ】　ルカ２：２５～３５

救い主の到来を信じて待ち続けたシメオン

この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルの慰められることを待ち望んでいた。聖霊が彼の上にとどまっておられた。また、主のキリストを見るまでは、決して死なないと、聖霊のお告げを受けていた。

ルカ２：２５、２６

とうとうその日がやって来た！

「主よ。今こそあなたは、あなたのしもべをみことばどおり、安らかに去らせてくださいます。
私の目があなたの御救いを見たからです。御救いはあなたが万民の前に備えられたもので、
異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの光栄です。」　　　　ルカ２：２９～３２

神の御心を理解していたシメオン

また、シメオンは両親を祝福し、母マリヤに言った。「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人が倒れ、また、立ち上がるために定められ、また、反対のしるしとして定められています。剣があなたの心さえも刺し貫くでしょう。それは多くの人の心の思いが現れるためです。」

ルカ２：３４、３５

その場に居合わせたアンナ

アンナは神を賛美し、「エルサレムの救いを待ち望んでいる人々皆に幼子のことを話した」

メシアの誕生を告げる預言

エッサイの根かぶから新芽が生え、その根から若枝が実を結ぶ。 イザヤ１１：１

預言は「ことば」。　実態はまだない。

どれくらい時が経過するかわからない。しかし必ず実態が現れる「預言の成就」

エッサイ･･･イスラエル王国の全盛期の王ダビデの父親の名。
ベツレヘムの羊飼いだった。

預言者イザヤが語った預言は、この後、いっこうにその実態が現れる気配がない！
･･･約７００年！　その間、国は滅亡。強国の支配の元で苦しみ続けた民。
神様に見捨てられてしまったという落胆。力を失った民から、エッサイの根株から新芽など生えるはずはないと思われる時代が長く続いた。

◆神を信じる者の強さは、時代が絶望的に見えるときほど、かえって神の御わざがなされることを、みことばを通して確信できること。

◆当てもない事を信じて待つことは難しい。一方、メシアを待ち望むことができたのは、神の約束（預言）があったから。その預言を信じたのは、与えられた方を信じたから。誰がその言葉を語り、与えてくださったかが重要。

【イエスキリストの系図】　マタイ１章

アブラハム～ダビデまで１４代。　ダビデ～バビロン移住までが１４代。
バビロン移住～イエスキリストまでが１４代。　全部で４２代

メシヤの預言は私たちにも深く関係している！

エッサイの根が起こる。異邦人を治めるために立ち上がる方である。異邦人はこの方に望みをかける。 ローマ１５：１２

異邦人とは私たち。